

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

# わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより平成24年4月25日発行

## 5月の主な行事予定



5月18日(金)～5月20日(日)

中国・四国・九州生涯教育実践研究交流会(福岡県立社会教育総合センター)

5月24日(木)

中部地区社会教育担当者会(湯梨浜町役場)

## 大山池で大自然を楽しもう!! 参加者募集「中部地区少年少女のつどい」

場  
所

大山池 および  
やまもり温泉キャンプ場

雨天時: 関金屋根付多目的広場

日  
時

平成24年

6月3日(日)

活動内容

(1) 仲間づくりレクリエーション

初めて出会った友達と自己紹介やゲームをします。

(2) 竹細工・竹筒ごはんづくり

竹とんぼづくりや青竹の筒でご飯を炊くことに挑戦します。

(3) 水路くだり・カヌー体験

用水路をゴムボートで800メートル下ります。

また、大山池で雄大な自然を眺めながらカヌーを体験します。

募集対象

中部地区小学生(4年生以上)

参加申込

参加希望者は、5月11日(金)までに各市町教育委員会へ



少年少女のつどいの魅力の一つは、小学生が、中学生・高校生ボランティア、倉吉グレートライオンズクラブの方とも一緒に活動する多世代交流です。みなさんの周りの子どもたちに声をかけていただきますようお願いします。



# 地域をPRする 第8回うわなだ桜まつり

## 地域の良さを発信し地域を活性化するまつり

平成 24 年 4 月 8 日にうわなだ桜まつり実行委員会が主催する「うわなだ桜まつり」が、上灘中央公園と倉吉市上灘公民館を会場として開催され、5,000 人の来場者がありました。



寒さが長引き、桜もまだつぼみ

会場には、上灘地区 12 自治公民館の屋台が軒を連ねました。NPO や地元企業の協力もあり、野菜や果物の販売、子ども向けの高所作業車体験や、自衛隊の車両展示がありました。

また、東中学校の生徒によるやきそばの屋台、倉吉東高等学校オーケストラ部の演奏といった中学生、高校生の参加もあり、地区内の交流、世代間の交流が行われました。

上灘地区は昭和 57 年に土地区画整理を終え、農村から徐々に都市化してきました。会下谷川の桜は、この頃（昭和 61 年）に記念樹として植えられたものです。

「うわなだ桜まつり」は、この桜が 20 年を経過し成木となった 8 年前から、桜の良さ、地域の良さを地区内外に PR するまつりとして開催されています。



東高オケ部のオープニング

上灘公民館は、桜まつりの PR のため、公共施設、スーパー、ホームセンターなど集客力のある施設にポスター掲示をお願いしました。

また、テレビ、新聞社などマスコミへ資料提供を積極的に行っています。今年は、NHK のふるさと伝言板に上灘公民館長と公民館主事が出演しました。



中学生屋台は大人気。行列が…

上灘地区は、新しい市営住宅が建設されるなど新しい住民が増えている地区です。新しい住民といままでの住民とが協力してまつりを運営することが、地域の活性化につながっています。



お父さんもちつきでガンバル



乗りものは子どもに人気

# 学びを地域に還元する洋ラン展 成美地区公民館の園芸教室

琴浦町立成美地区公民館は、平成 24 年 4 月 20 日から 22 日までの 3 日間、洋ラン展を開催しました。

今年で 19 回目を迎える洋ラン展は、成美地区公民館で活動するサークル「園芸教室」が主催している展示会です。

園芸教室は、60 代から 80 代の女性を中心に 16 名が活動しているサークルです。

20 年前にシンビジウムを株分けして、それぞれ持ち帰って育てました。

そして、1 年後に持ち寄って、洋ランの展示をしたことが、この洋ラン展のスタートです。

今年は、成美地区公民館の会議室とロビーをいっぱいを使って、約 100 鉢のシンビジウムとギンギアナムを展示されました。

開催中は会員が当番で、お茶やコーヒーとお菓子でおもてなしをします。会話が弾み交流が深まります。花の観賞はもちろんですが、実はこれを楽しみに来場される方も多いのです。

毎年、抽選で 1 名の方にシンビジウムの花束がプレゼントされたいへん人気です。

洋ラン展開催中に、数は限られていますが、株分けがあります。そして洋ランの育て方について、会員による資料を使った解説もしています。

今年度は、3 日間で、約 300 人の来客がありました。遠くは、米子市、若桜町からも見えられました。来場者の感想に「きれいな花を見て心が癒されました」「また来て見たいです」などがあり、会員の励みとなっています。

洋ラン展の開催日は、花が一番多く咲いている時としており、1 週間くらい開催がずれてしまうことがあります。

そのため、開催日を決めた後に、「洋ランの絵はがき」で、昨年の来場者や近隣の福祉施設、保育園などに案内状を送ります。このことが、洋ラン展が盛会となることにつながっています。

園芸教室は、自主運営のサークルですが、会員が洋ランを育てるなかで学んだことを解説したり、洋ランの様子を絵はがきでお知らせしたりすることで学びを地域に還元しているサークルです。

来年は、記念すべき第 20 回です。さらに盛大に開催されることを期待しています。



育て方の資料と洋ラン



始まりはこのランの株分け



株分け苗のプレゼント

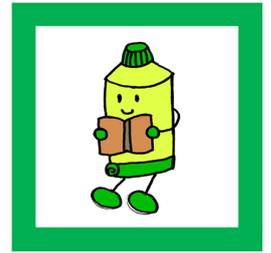


限定 1 名。シンビジウムの花束のプレゼント

# 子ども読書の日「本を読もう」 鳥取県子ども読書アドバイザーってなあに？

子ども読書アドバイザーは、読み聞かせ団体や PTA 等の研修で読み聞かせの実技指導、選書の考え方などをアドバイスされる方です。

鳥取県教育委員会 家庭・地域教育課では、子ども読書アドバイザーを派遣し、読書活動を啓発しています。



## 小学生も学ぶ読み聞かせ

本来は、大人向けに指導をおこなっている読書アドバイザーですが、変わった例の紹介です。

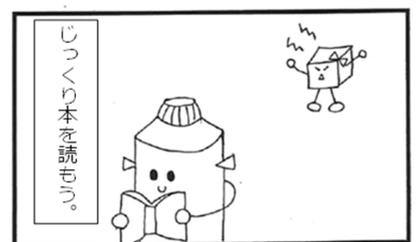
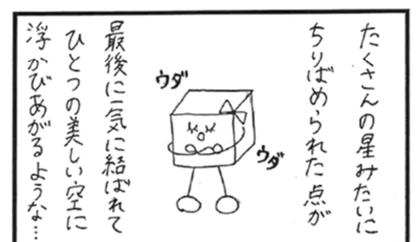
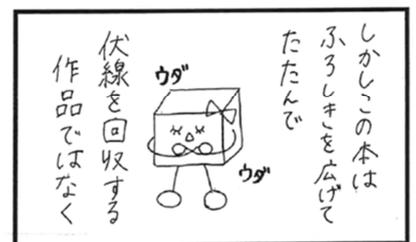
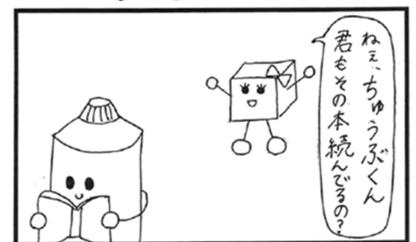
4月23日の「子ども読書の日」に北条小学校が、鳥取県子ども読書アドバイザーの琴浦町立図書館真山葉子司書をゲストティーチャーとして招きました。

今年度から北条小学校の4年生は、北条こども園の年長児に定期的に絵本の読み聞かせをすることになりました。そのための事前学習として絵本の力、読み聞かせをするときに気をつけることについて真山先生から学びました。

子どもたちは、本の楽しさが伝わる読み方、読み手と聞き手の間にある安心感がもてる読み方について聞いた後、友達に絵本の読み聞かせをして学びました。



## ちゅうぶくん



### 【あとがき】

春です。「花」のある公民館事業取材しました。記事ではふれていませんが、花があるところには、「もてなし」の心もあるように感じる公民館訪問でした。なんとなく「もてなし」を感じるの、花があって、その場にゆとりを感じるからかもしれません。(大本)

中部教育局  
社会教育担当

電話 0858 (23) 3253

FAX 0858 (23) 5203

E-mail [daimotoy@pref.tottori.jp](mailto:daimotoy@pref.tottori.jp)